

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、団塊の世代を含む全国の中老年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の変化の過程を継続的に調査し、行動の変化や事象間の関連性等を把握し、高齢者対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成 17 年度を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成 17 年 10 月末現在で 50～59 歳であった全国の男女を対象とし、そのうち、第 4 回調査又は第 5 回調査において協力を得られた者を客体とした。

第 6 回調査における対象者の年齢は、55～64 歳である。

3 調査の期日

調査の周期 毎年 1 回（11 月の第一水曜日）

調査の期日 第 6 回調査 平成 22 年 11 月 3 日（水）

4 調査の事項

家族の状況、健康の状況、就業の状況、住居・家計の状況 等

5 調査の方法

厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統

厚生労働省 ———— 被調査者
郵送

7 結果の集計及び集計客体

(1) 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

(2) 調査客体数等

調査客体数、回収客体数は以下のとおりである。

	対象者の年齢	調査客体数	回収客体数	回収率
第1回調査	50～59歳	40,877	34,240	83.8%
第2回調査	51～60歳	35,007	32,285	92.2%
第3回調査	52～61歳	32,195	30,730	95.4%
第4回調査	53～62歳	30,773	29,605	96.2%
第5回調査	54～63歳	29,548	28,736	97.3%
第6回調査	55～64歳	28,554	26,220	91.8%

(3) 集計客体数

本概況では、第1回調査から第6回調査まで集計可能である25,157を集計客体とした。

8 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

(3) この概況の掲載の数値には、統計数が僅少のため利用する際に注意が必要なものが含まれる。